

平成29年度千葉県入隊・入校予定者激励会

自衛隊を選んでくれてありがとう

3月3日(土)、13時半から四街道市文化センターにおいて、今春、千葉県から自衛隊に入隊入校予定の約450名の内、198名が出席して行われた。会場全員による国歌斉唱の後、自衛官候補生、一般官候補生、航空学生、一般幹部候補生、防衛大・防衛医科大学、高等工科大学生徒として入隊等予定の若者が家族、来賓及び一般出席者の見守る中、出身市町村毎に1人ずつ紹介された。引き続き、渡邊昭自衛隊家族会会長は主催者として挨拶され、人の役に立つ仕事を志すべく選んでくれたことに謝意を表された。また伊藤秀人海自第3術科学校長は祝辞の中で、数多くある職業の中で自衛隊を選んできたことに対し本当に感謝すると述べられ、入隊したら、理不尽と思うこともあるが、まず目の前のことを懸命にやってみよう。尊敬できる先輩、教育班長に早く出会ってほしいと強調された。

小野寺防衛大臣及び森田千葉県知事はビデオレターにより激励された。その他、先輩隊員による激励、入隊等予定者への記念品贈呈があり、最後に入隊等予定者代表の謝辞で第1部激励会を終えた。

第2部では、空挺団の隊員による習志野空神土魂太鼓及び東部方面音楽隊の演奏が行われた。幕間で陸海空先輩隊員インタビューが行われ、所属部隊の紹介、隊での普段の生活や食事などをユーモアを交えて話し、入隊予定者を元気づけた。



各地で支部総会を開催

◆四街道支部(中尾英夫支部長)
1月8日、四街道市文化センターで正会員49名、特別会員9名、来賓18名が参加。総会では、特に今年度、憲法改正推進四街道市民の会を結成し、支部はその主体となって活動することが了承された。防衛講話は、公益社団法人自衛隊家族会副会長、元東北方面総監の宗像久男氏に「自衛隊にとって憲法9条改正はなぜ必要か」と題した講話をして頂いた。懇親会には、四街道市長・議長、陸自高射学校長等をお迎えし、支部会員と来賓の懇親の交を上げ、また、千葉若葉支部及び千葉緑支部からも出席を頂き、連携を図り、希望と信念をもって新年を迎えることが出来た。

◆成田支部総会(石橋隆夫支部長)
2月17日、成田市内ひかたや第2支店において正会員17名が参加。29活動報告・収支決算報告、30活動報告について了承した。来賓として小泉一成成田市自衛隊協力会会長、小池正昭・五十嵐博文各県議会議長、鈴木英吉富里市議会議長、小淵県隊友会会長、齋藤大日精化職域支部長、松枝千葉地本成田所長、赤羽成田市危機管理官など11名の方に出席頂いた。引き続き、賑やかに懇親会を行った。



沼南支部総会(満園哈爾男支部長)

2月17日、18時から柏市内パレット柏にて正会員26名が参加。29活動報告、支部会員の現状報告及び今後の活動について承認。その後、白須賀貴樹衆議院議員から挨拶を頂いた。その中で、氏は、現在、党で審議中の憲法9条改正の案文についての私案を紹介され、今後、国会発議に向け、これに鋭意取り組んで行くこと述べられた。その後、海自下総教育航空群司令浅岡哲史1等海佐から「海自の現状及び下総航空基地の現況」と題した講話をして頂いた。懇親会には、浜田穂積千葉県議会議長、秋山浩保柏市長、浅岡哲史1等海佐及び阿比留義顯柏市議会議長を来賓に迎え、河野県顧問、安達副会長、県理事役、小渡監事役及び柏支部から佐野英良会員、佐藤久義会員も参加、支部会員と懇親を深めた。

「日本の建国を祝う集い」に参加

「日本の建国を祝う集い」東葛実行委員会は、2月11日(祝)、14時から柏市内アミューゼ柏クリスタルホールにおいて、同集いを開催した。当初、奉祝の集いとして、出席者による「紀元節」の斉唱、主催者挨拶の後、国会議員・市議会議員などの来賓を代表して櫻田義孝衆議院議員が祝辞を述べられた。その後、元空将・航空支援集団司令官



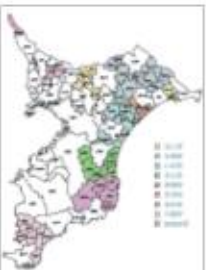
事務局からの連絡事項

- ◎第12回県隊友会ゴルフ大会開催について
既に案内していますが、またの方は4月6日までに申込みをお願いします。
- ▽開催日 5月22日(火) 8時59分
アウト・イン スタート
- ▽場所 三井インテック茂原GC
千葉県茂原市長尾1647
- ▽経費 9千6百円(フリール費等十税)
参加費3千円
- ▽連絡先 柏谷不更津支部 柏谷健蔵

隊友千葉だより

平成30年3月号(No.52) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

千葉県隊友会通常総会のお知らせ

千葉県隊友会 正会員各位

平成30年度千葉県隊友会通常総会は、次により開催することになったのでお知らせします。

- ◆開催日時 4月19日(木) 14時~16時10分
- ◆場所 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区中央1-11-1)
- ◆参加者 支部長等及び各支部長の指名する代理人(総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。)
- ◆議案 第1号議案、第5号議案(概要は以下のとおり。)

【第1号議案】平成29年度事業報告(案)

◆県主催で海自教育航空集団司令官を招いて防衛講演会を開催するとともに、各支部は防衛講演会を実施した。

◆県本部内に引き続き防災活動について検討するプロジェクトチーム(防災ボランティアPT)を設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の整備・強化の促進等について検討した。

◆災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度を維持した。

◆県隊友会は、30年3月、災害時、県防災備蓄倉庫からの県備蓄品の払出しを主な内容とする防災協定を千葉県知事と締結した。

◆各支部は、地域で実施された防災訓練に参加・支援した。特に、安房支部は、30年2月10日、鴨川市災害ボランティアセンター立上げ訓練に会員7名が参加し、同市の災害対策に貢献した。

◆会長以下、東総支部長、山武東金支部長等、会員11名は、8月26日、匝瑳市八日市場で実施された

第38回九都県市合同防災訓練(千葉県会場訓練)

を研修した。

◆四街道・千葉若葉・船橋・木更津・千葉稲毛・市原・八街・市川・白井の各支部会員及び県理事役など総勢31名が参加、下志津駐屯地追悼式場「鎮の庭」の樹木剪定・清掃を行い、平成29年度自衛隊殉職隊員千葉追悼式の整齊たる実施に貢献した。

◆県自衛隊家族会主催(千葉地本実施)の平成29年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会を共催し、入隊予定者に激励品を贈呈した他、会場使用料等を助成した。

◆4月下旬から5月にかけて発生した東北地方山林火災に対する災害派遣に際し、本県から派遣された第1ヘリコプター団に激励品を贈呈した。

◆県内各駐屯地業務隊からの家族支援要望延べ153名に対し、各支部長の協力を得て、34名分の会員を割当てた。

◆県内各駐屯地・基地等における開設記念式典・懇親会及び夏祭り等に会長、副会長、近傍支部長・会員等が参加した。

◆四街道、松戸、習志野、千葉稲毛及び市川各支部長の協力を得て、招集訓練に参加した予備自衛官に対し講話を実施した。

◆賛助会員1名の普通死亡に際し、香典を贈呈した。

◆下志津駐屯地における平成29年度自衛隊殉職隊員千葉追悼式に会長及び各支部長等、総勢22名が参加した他、下総及び館山航空基地追悼式に会長、副会長等が参列した。

◆県護国神社の春季大祭及び秋季大祭前の土日に会員有志延べ72名が参加、神社境内の清掃を行うとともに春・秋大祭当日、同じく延べ24名が交通規制の奉仕を行った。

◆5月26日に施行された県護国神社内「ああ特攻勇士之像」慰霊祭に山田顧問等が参列した。

◆各支部は、地域の慰霊祭に参列するとともに地域所在慰霊碑周辺の草刈奉仕を行った。

◆各支部は、市教育委員会主催市民講座等の講師、地域の防犯指導等に協力した他、沼南支部は、手賀沼トライアスロン等大会を支援した。

◆会勢拡大PTで県内駐屯地・基地毎に近傍支部長等及び理事役を入会促進会員に指定し、退職予定隊員を掌握、入会勧誘を行った。

◆正会員に対しては、隊友新聞、各種チラシ等を配付するとともに、特別会員には、隊友新聞、ティフェンス及び防衛開眼を配付した。

◆年4回、「隊友千葉だより」を発行した。

◆県計画で111名の会員・家族・知人が参加、海自護衛艦「いずも」を研修した。

◆県隊友会ホームページを千葉稲毛支部長及び山田顧問の協力を得て、月1回を基準に掲載記事を更新した。

◆5月15日、四街道支部が幹事となり、「第11回県隊友会ゴルフコンペ」を開催した。

【第2号議案】平成29年度決算(案) (平成30年2月末現在)

- ◆収入 971万3千207円(当年度収入①~⑤)
- ① 532万1千647円
- ② 前年度繰越額 439万1千560円
- ③ 会費収入 389万2千800円
- ④ 寄付金収入 70万2千円
- ⑤ 事業収入 40万8千862円
- ⑥ 雑収入 1万7千985円
- ◆支出 464万4千161円
- ① 事業費 164万5千278円
- ② 管理費 297万4千723円
- ③ 予備費 2万4千160円

◆次年度繰越額1506万9千46円

【第3号議案】平成30年度事業計画(案)

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業及び収益事業の充実定着化を推進し、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るとともに、会員の福祉と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力強化に努める。

特に、今年度も引き続き、会勢の拡大、県役員・支部長の後継者の確保等、内部態勢の充実と努めるとともに、併せて憲法改正気運の高まりに応じ、憲法改正運動に積極的に協力する。

2 実施要領及び主要着眼事項

◆千葉県との防災協定に基づき、災害時、県の要望に応じ、県対策本部の支援及び県防災備蓄倉庫から支援物資の払出し等を支援する。併せて、防災備蓄倉庫の平時の管理(備蓄品の点検等)を一部の支部で試行し、本格実施の検討に資する。

◆県本部内に防災ボランティアP.Tを設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の補備・強化の促進、県本部の防災協力・支援態勢の充実等について検討し、防災ボランティア体制の発展・充実を図る。

◆県で防災ボランティア組織を整備し、要請に基づいて被災地に赴き自治体のニーズに応じた被災者の救援活動に貢献する。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練及び国民保護法関連訓練に機会を求めて参加(研修・支援)し、また、災害発生時の情報収集支援等に協力する。

◆3月の入隊者予定者激励会を共催・支援する。

◆県内所在陸・海・空各自衛隊・要員が国際貢献活動及び大規模災害派遣に従事する場合は、激励・慰問等の支援を実施する。

◆隊員家族の支援協力に関する隊友会、自衛隊家族会及び陸上幕僚長との中央協定に基づき、県内各駐屯地業務隊長等の支援

要望に応じ、県自衛隊家族会と協力し、平時から隊員家族と会員の顔合せを行い、相互連携を深める。大規模災害発生時、部隊からの要望に応じ、調整を入れず隊員家族の安否確認等を支援する。

◆予備自衛官の招集訓練実施時期に、理事役又は支部長等による防衛講話の実施に努める。

◆公務及び病気死亡の賛助会員に対し、香典を贈呈する。

◆殉職自衛隊員千葉県追悼式及び各駐屯地・基地で行われる殉職自衛隊員追悼式に参列する。

◆下志津駐屯地殉職自衛隊員慰霊施設「鎮の庭」の剪定・清掃支援を実施する。

◆千葉県護国神社で行われる春秋の大祭のご奉仕を積極的に実施する。

◆千葉県護国神社内「ああ特攻勇士之像」慰霊祭に参列する。

◆各支部は、地区内(又は近傍)において行なわれる戦没者の慰霊顕彰行事等へ参加・協力するとともに、陸・海軍墓地、慰霊碑、忠魂碑等の清掃維持管理等の支援に努める。

◆各支部は、県内各地区で開催される各種の体育大会等に協力するとともに、市町村や町内会等が行う市民講座、防犯活動、学童交通指導、清掃奉仕活動等の地域活動に機会を求めて積極的に参加・協力する。

◆「美しい日本の憲法をつくる千葉県民の会」の活動に協力し、憲法改正市民の会などの立ち上げ及び活動に参加するとともに、憲法9条改正チラシの街頭配布活動を実施する。

◆英霊にこたえる会等慰霊顕彰諸団体の活動、北方領土返還要求運動等に参加する。

◆県本部内に会勢拡大策の検討及び実行のための会勢拡大P.Tを設置し、隊友会本部及び在業部隊と連携し、各種施策を講じ、会勢の拡大を図る。

◆海自第3術科学校実施の業務管理教育での隊友会紹介を県で担任する。

◆正会員に対して、隊友新聞を配付するとともに、特別会員に

は、隊友新聞及びティファックス等を配付する。この際、正会員には手配りの推進に努める。

◆隊友千葉たよりは、年6回を基準に発行する。

◆会員(特別会員を含む)は、陸・海・空部隊を研修し、各自衛隊の現状について理解を深める。

◆入会後10年を経過しかつ75歳未満の終身会員には、会運営協力費として年間3千円の寄付をお願いする。

◆丸大食品及びセレモア関連事業を引き続き実施するとともに、本部施策による収益事業の推進に努める。

◆各支部長は、年1回、支部会員を招集し支部総会を実施する。

【第4号議案】平成30年度予算(案)

◆収入11千600万3千646円(当年度収入の)⑤1553万4千600円)

①前年度繰越額1506万9千46円 ②会費収入354万円

③寄付金収入105万円 ④事業収入44万4千円100円 ⑥雑収入150万500円

◆支出1643万1千円

①事業費282万4千円 ②管理費357万7千円 ③諸支出10 ④予備費3万円

◆次年度繰越額1417万2千646円

【第5号議案】役員交代(4月19日付)

◆新任理事役 河西伸人(海)、柏谷健蔵(陸)、監事役 本間好道(陸)、木更津支部長 青木清治(空)、柏支部長 藤本信茂(陸)、白井支部長 和田 晃(海)、市川支部長 永井博(陸)、茂原支部長 杉崎鎮平(空)

◆新任理事役 青木清治(空)、門脇清美(陸)、茂木利明(陸)、宮越 章(海)、監事役 河西伸人(海)、木更津支部長 柏谷健蔵(陸)、柏支部長 阿比留義顯(海)、白井支部長 増山晋一(陸)、市川支部長 金井泉寿(陸)、茂原支部長(長生支部長兼務) 森本澄男(陸)

30年1月・2月入会者

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【安房】 山内 隆(海)
- 【市原】 富川 正(空)
- 【鎌ヶ谷】 稲葉 稔(海)
- 【印西】 中山 浩司(海)
- 【松戸】 北川 辰三(陸)
- 【松戸】 白戸 孝行(陸)
- 【柏】 西野 光伸(陸)
- 【柏】 栃内 健司(陸)
- 【船橋】 吉田 俊介(陸)
- 【船橋】 橋口 龍一(陸)
- 【船橋】 佐藤 慎一(海)
- 【習志野】 岩谷 巧(陸)
- 【習志野】 小林 哲哉(陸)
- 【習志野】 加瀬 勝一(技)
- 【八千代】 石丸 健次(陸)

鴨川市災害ボランティアセン

ター立ち上げ訓練に参加

安房支部(三好文雄支部長)は、2月10日(土)に実施された平成29年度鴨川市災害VC立上げ訓練に支部長以下7名の会員で参加した。本訓練は、大雨・洪水発生による地域の浸水等被害を想定して実施された。安房支部は、鴨川市災害ボランティア連絡会に団体会員として登録しており、本訓練により、VCスタッフとしての役割(受付、オリエンテーション、マッチング、送りの出し、資材配分、報告等)をロールプレー(役割訓練)により体験した。



相談役交代

1月22日、第44警戒隊長兼ねて峯岡山分屯基地司令中村誠二等空佐に三好安房支部長が会長に代わり委嘱状をお渡しして相談役を委嘱した。

1月26日、海自第3術科学校長 伊藤秀人海将補を小淵会長、安達副会長、満園沼南支部長及び河西・三浦各理事役で表敬訪問し、相談役を委嘱した。

同様に2月9日、海自第21航空群司令小俣(おとら)和之海将補を小淵会長、安達副会長、川村館山支部長及び日向理事役で表敬訪問し、相談役を委嘱した。各司令とも相談役委嘱を快諾されるところに、特に退職隊員の隊友会入会についての協力をお願いしたところ、快く了解を頂いた。

訓練には、同連絡会のほか県、近隣自治体の社会福祉協議会及び市の関係職員等総勢70人が参加。安房支部は揃いの隊友会ヒッスを着用して訓練に参加した。安房支部参加会員は、本訓練を通じてVC運営についての理解を深めるとともに今後も継続した災害ボランティア訓練・講習等を通じて地域に貢献していくことを再確認した。

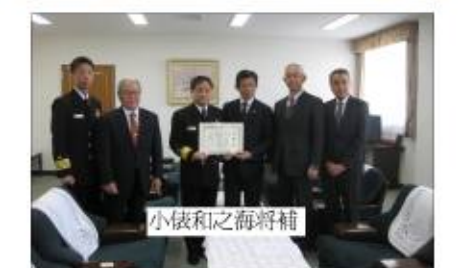
【安房支部会員 森下孝志】



中村誠2等空佐



伊藤秀人海将補



小俣和之海将補

護衛艦「いずも」を研修

県隊友会は、平成29年度部隊研修として、1月15日(月)、安達副会長はじめ会員とその家族・友人・知人を含む111名(内女性22名)が参加し、海自第1護衛隊群第1護衛隊所属の護衛艦「いずも」を研修した。第1護衛隊群司令 八木浩二海将補自らの出迎えを受け、乗艦、格納庫で八木司令のご挨拶を頂いた後、航空機用昇降機で飛行甲板に上昇、港内見学を行った。

その後、多目的室に移動、いずも艦長 甲斐義博1等海佐のご挨拶を頂いた後、広報幕僚から護衛隊群・護衛隊の編成・任務、「いずも」艦名の由来、性能、米軍艦艇との比較、「いずも」の運用、特に熊本地震災害派遣時の北海道から北九州までの陸自隊員・車両の統合輸送オペレーションの実績などを全体ブリーフィングを受けた。会員からは、いずも改修の新聞報道、災害派遣時の傷病者・被災者支援拠点としてのいずもの運用など活発な質問が出た。引続き、6個グループに分かれ、エスコートの隊員から飛行甲板上



護衛艦「いずも」乗艦記念 平成30年1月15日(月)

旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊祭

夷隅支部(高橋清三支部長)は、駆逐艦「沖風」の祥月命日1月10日午前9時から勝浦市川津港近くの「真慶寺」住職による慰霊祭に遺族関係者とともに夷隅支部会員7名が参列した。参列者は回を重ねるごとに逐次増加し、今回は勝浦市役所広報職員をはじめ、総計27名にて供養することが出来た。



旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊祭 平成30年1月10日(日)

及び格納庫の装備などの説明を受け、16時に終了した。国際情勢緊迫のおり、かつ任務多忙の中、100名を超える多くの会員等の研修を快く受け入れて頂き、八木司令をはじめ第1護衛隊群・第1護衛隊・いずも乗組員の方々に、この場を借りて、心から感謝申し上げます。県隊友会としても隊員募集など、いろいろな機会に、惜しみなく、海自に協力して行く。